

質問通告書

次の件について質問の通告をいたします。

令和5年11月13日

質問者氏名 塚原正彦
(会派名 うしく未来プロジェクト)

牛久市議会議長 殿

会派代表質問	○	一括方式
--------	---	------

質問事項	要旨
1. 牛久市の未来の富とブランド力を創出するための戦略について ー文化観光を開発推進する新しい仕組みづくりをー	<p>・新しい富の誕生 2024年のパリ五輪の開会式はセーヌ川で実施され、オルセーミュージアムで競技が行われる。日本でも令和2年に文化観光推進法が成立し、文化資源を物語化することで高付加価値化して、富をつくる動きがスタートした。</p> <p>・可能性のある牛久の地域文化資源 市とその近隣には、自然、アート、文化、歴史資源に加え、食や農の物語のある地名、食や農の研究所やミュージアムが集積している。これらの文化資源をリンクし、学びと遊びにデザインできれば、世代や国境を超えて人々が牛久の遊びと学びに消費する新しい富の流れをつくることができる。</p> <p>・牛久から新しい富をつくる 現在市内では、文化起業家を志すチームが市内の文化資源を発見し、物語化するプロジェクトがスタートしている。この動きを推進、波及させることができれば、牛久のブランド力を高め、稼げるまちづくりに進化させることができる可能性がある。</p> <p>・文化観光を実行するため新しい体制を 文化観光を成功させ、新しい富を創出するためには、日本遺産、文化芸術、ふるさと納税、移住定住の促進、観光など各課で取り組んでいるプログラムを整理集約し、民間と行政が連携しながらプロジェクトを展開できる新しい制度設計に着手すべきであると判断するが考えを伺う。</p>